

平成29年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者 評価 (月日 実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善 方策等		成果と 課題	改善方 策等
1 教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導と生徒の主体性を育む学習活動を推進する。 ②基礎的な学力と応用力の育成を図り、組織的な授業改善をさらに推進する。 ③学校行事や生徒会活動など生徒一人ひとりが積極的に取り組み、主体的に生きる力を育成する。	①生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導と主体性を育成する学習指導に取り組む。 ②コミュニケーションの技能を高めることを視野に入れた組織的な授業改善を進める。 ③生徒会行事に人権を意識しながら、生徒一人ひとりが主体的に取り組むよう計画や運営を支援する。	①全クラス多展開を継続し、きめ細やかな指導と生徒の多様な進路希望に対応できるよう教育課程の再編成等も視野に入れる。 ②思考力・判断力・表現力等の育成とコミュニケーション技能の向上のために研究授業や教員相互の授業見学等をより推進する。 ③人権に対する意識を高めながら生徒会役員や学校行事の実行委員に対し、決め細やかな助言、指導をする。	①生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導や生徒が主体となる学習活動が展開できたか(生徒による授業評価)。 ②組織的な授業改善や教員相互の授業見学をさらに推進することができたか。 (授業見学回数と教科会の振り返り) ③生徒会行事に生徒が人権を意識しながら主体的に参加することができたか。(アンケート等) ・取組みの過程で課題の発見や課題解決に向けて、主体的に考え、実践したか。(アンケート等)					
2 生徒指導・支援	①生徒一人ひとりの個に応じた課題解決能力の育成と支援体制の充実を図る。 ②部活動の充実を通して責任感やコミュニケーション力の涵養を図る。	① i 生徒指導のあり方を、指導から支援へと円滑に移行するために、教育相談体制の充実を図る。 ii 人権教育への取組みを通じて、他者尊重の意識・人間関係調整の技能を育成する手法を研究・考案する。	① i スクールカウンセラーやスクールメンターの制度を活用するとともに、適切な連携の観点から、生徒の状況や悩みに関して速やかに情報の共有・交換を行う。 ii 研究機関等訪問調査・人権教育指導者養成研修講座受講・職員対象校内人権研修会実施・生徒対象校内人権学習会実施	① i 利用件数・打合せ実施回数 ii 調査報告・各研修会実施後のアンケートの分析結果					
3 進路指導・支援	①生徒の主体的な活動を通して、進路実現・自己実現を果たす力を育成する。 ②生徒のあらゆる進路希望を十分に支援できるキャリア教育体制を構築する。	② キャリアガイダンスプログラムの活用を深化し、各学年を中心に生徒の主体性を育成する進路支援に取り組む。	②「進路講座」「進路ガイダンス」を中心にした日常的なキャリアガイダンスを展開する中で、切れ目のない3年間の進路支援を構築するとともに、進学講習、実力診断テストや進学模試、就職・公務員模試等を実施し、学習意欲を喚起する。	②・進路講座開講人数と参加人数参加人数 ・進路ガイダンス実施回数 ・インターンシップ参加人数 ・進学模試、就職・公務員模試実施回数と参加人数					
4 地域等との協働	①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	①地域との連携・協働を通じて、生徒に地域での役割や活動の場を増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図り、判断力、実践力の向上を目指す。	① 地域における、防災訓練、花植え作業、商店街との共同企画イベント等に、生徒を積極的な参加を促す。 ・ふれあい交通安全指導や交通安全出前授業を通じて地域連携、交流を図る。 ・学校全体として、人権を意識させながら主体的な活動を支援し、案内や説明会を行うことで、ボランティア活動に対する意識を高める。	①説明会開催数 説明会参加人数 実施回数 ボランティア参加者数 地域・自治会等からの意見など ・実践の結果を事前事後のアンケートやワークシートの記述から分析し、生徒の自己肯定感の推移について調査する。					

5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の整備と広報活動の充実に取り組み、開かれた学校づくりを進める。</p> <p>②安心・安全の学校づくりを基本に情報管理を徹底する等、事故不祥事ゼロとする。</p>	<p>①広報活動を充実させ、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>② 事故不祥事ゼロを目指す方策を検討する。</p>	<p>①ホームページを通じた情報発信を随時行い、学校の取組みを外部にアピールするとともに、家庭への連絡も掲載し、家庭と学校との連携強化に活用する。</p> <p>③ 年間を通して、計画的に質の高い職員研修会を行う。</p>	<p>① ホームページへの更新状況とそのアクセス状況。</p> <p>② 職員対象研修会の充実状況。(職員対象日常点検等)</p>					
---	--------------	---	---	---	---	--	--	--	--	--